

## 研究助成募集要項

### 1. 目的

日本看護シミュレーションラーニング学会では、看護シミュレーションラーニングに関する研究を促進し、会員の研究能力の向上および学術的発展に寄与することを目的として研究助成を行う。

### 2. 研究領域

本助成の対象とする研究領域は、看護シミュレーションラーニングに関する研究とする。

### 3. 応募資格

次の条件を満たす者を研究代表者とする研究を対象とする。

1. 申請者は本学会の会員であり、入会年度を含め1年以上の会員歴を有すること。
2. 研究は個人または共同研究とする。
3. 共同研究者は申請時に本学会会員(申請中を含む)であること。
4. 申請年度の年会費を納入していること。
5. 同一研究課題について、他の研究助成を受けている場合は原則として応募できない。

### 4. 助成内容

#### (1) 研究期間

研究助成決定後(当該年度5月)から翌年3月31日までとする。

#### (2) 助成件数および助成額

助成件数: 2件 助成額: 1件あたり上限20万円

### 5. 募集期間

2026年4月13日(月)~5月15日(金)12:00 ※締切後の申請は受理しない。

### 6. 申請手続き

研究助成への応募は、所定の申請書類を作成し、メールにより提出する。

#### (1) 提出書類

1. 研究計画申請書(様式1)
  2. 共同研究承諾書(様式2)(共同研究者がいる場合)
- ※様式は学会ホームページよりダウンロードすること。

#### (2) 提出方法

[k-josei@janssl.jp](mailto:k-josei@janssl.jp) にメールに上記書類を提出する。

- ファイル形式: PDF または Word
- 件名: 「研究助成申請(氏名)」

### 7. 審査方法

応募された研究計画は、研究活動推進委員会による審査会において評価基準に基づき審査を行い、その結果を理事会で審議し、最終決定する。

## 8. 審査基準

研究計画は、研究の目的・意義、独創性・新規性、研究計画の妥当性、実現可能性、倫理的配慮、成果発信の可能性、助成金使用計画の妥当性の観点で、総合的に評価する。

## 9. 助成対象経費

助成金は、採択された研究課題の遂行に直接必要な経費に使用できる。

### 使用可能な経費(例)

- 研究資料費(文献購入費、教材作成費など)
- 消耗品費(研究・シミュレーションに必要な物品)
- 調査・データ収集費
- 分析ソフト使用料・外部サービス利用料
- 会議費・通信費
- 成果公表に必要な費用(学会発表資料作成費等)

### 使用できない経費

- 研究者の人件費・謝金
- 私的利用と判断される物品
- 研究と直接関係のない学会参加費・旅費
- 他研究費と重複する経費

## 10. 採択結果の通知

審査結果は研究活動推進委員長より申請者にメールで通知するとともに、学会ホームページにて公表する。

## 11. 研究成果の報告

助成を受けた研究者は、研究終了後速やかに以下の書類を提出する。

- 研究成果報告書(様式 3)
- 収支報告書(様式 4)

研究成果報告書には研究の背景・目的・方法・結果などの要約を記載する。

領収書の添付は不要であるが、研究終了後 2 年間は保管する。

## 12. 研究成果の公表

研究成果は以下の形で公表することを求める。

1. 成果公表の際には  
「日本看護シミュレーションラーニング学会の助成を受けた研究」である旨を明記する。
2. 助成終了後 2 年以内に本学会学術集会で発表すること。
3. 学会誌への投稿を推奨する。

## 13. 研究の中断

やむを得ない事情により研究を中断する場合は、研究中断申請書(様式 5)を提出し、研究推進委員会の承認を得る必要がある。

- 中断は 1 年単位
- 最大 2 回まで申請可能

- 正当な理由なく研究を中止した場合、助成金の返還を求めることがある。

#### 14. 問い合わせ先

日本看護シミュレーションラーニング学会 研究活動推進委員会 研究助成担当

E-mail:[k-josei@janssl.jp](mailto:k-josei@janssl.jp)

#### 15. 付記

応募がない場合、または審査基準に達する研究がない場合は、当該年度の助成を実施しないことがある。